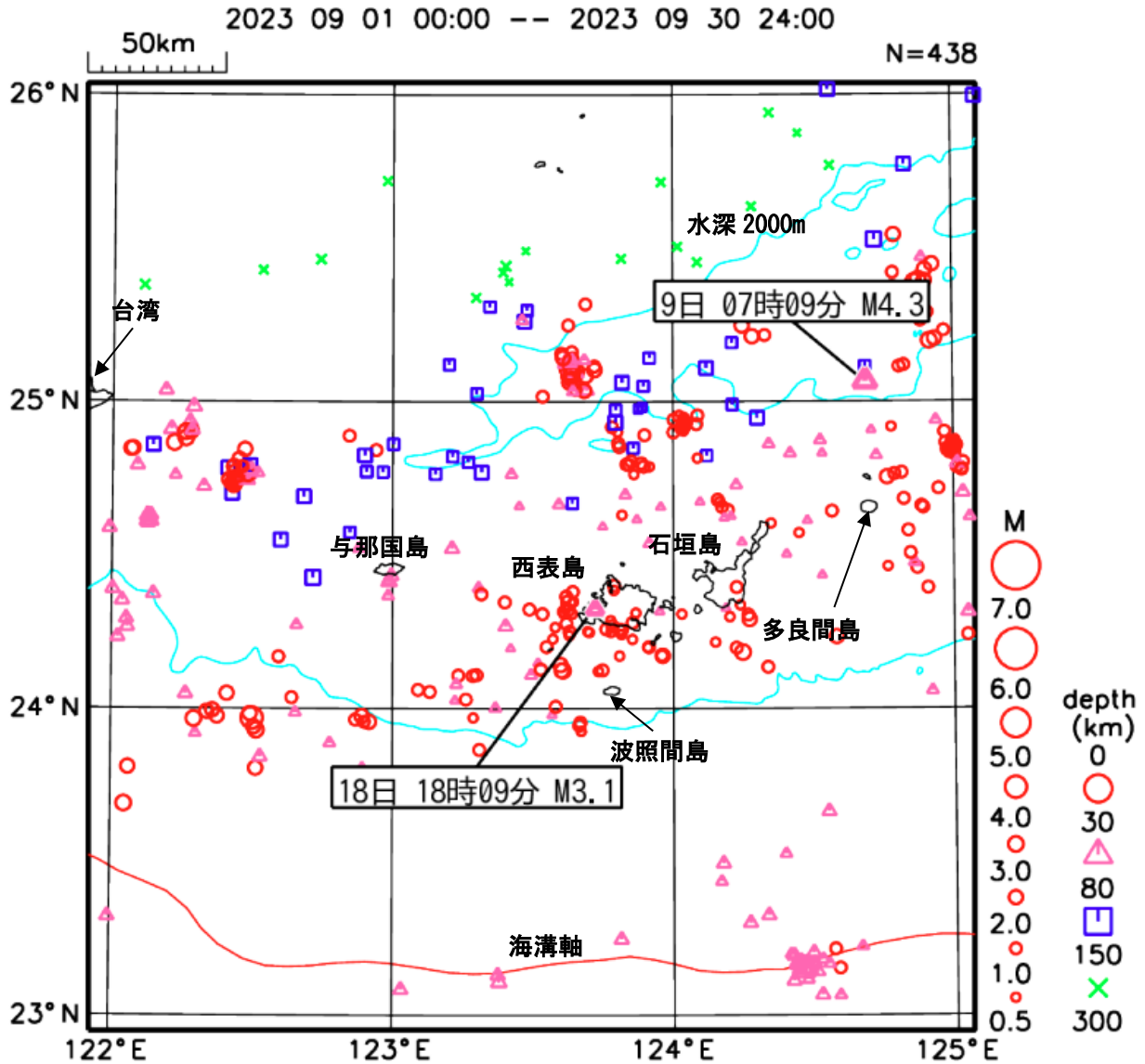


八重山地方の地震活動

令和5年(2023年)9月

石垣島地方気象台

震央分布図



図中の記号 M : マグニチュード depth : 震源の深さ
N : 地震の回数(マグニチュード 0.5 以上の回数です)
八重山地方で震度1以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。

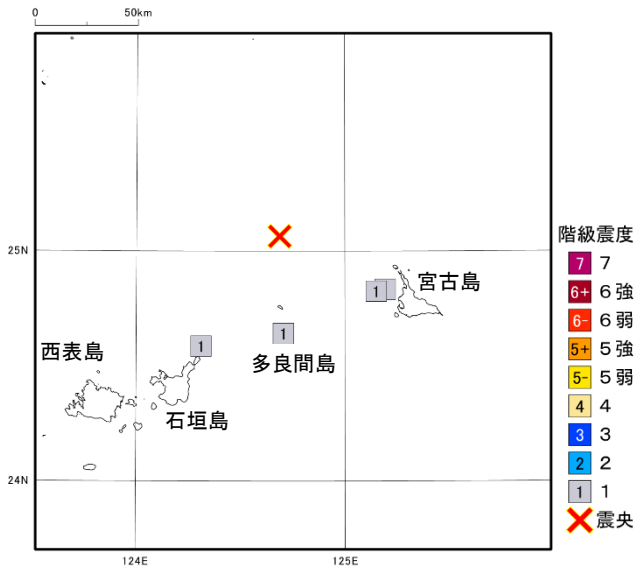
[概況]

今期間(9月)、震度1以上を観測した地震は3回(8月は0回)でした。

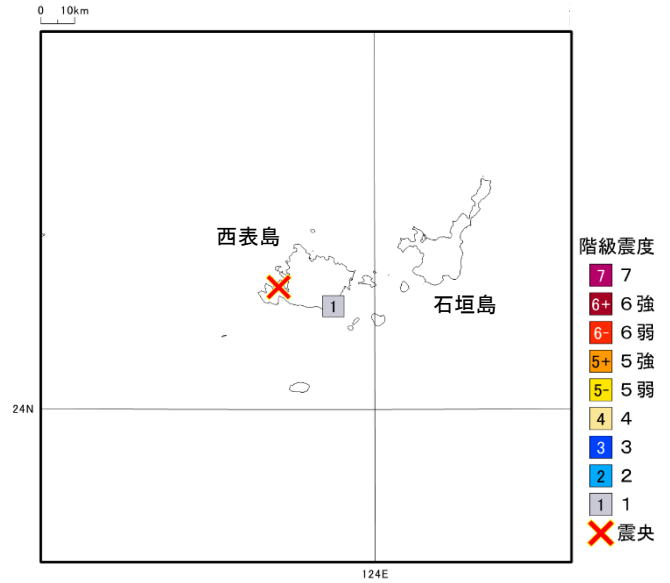
9月の主な活動は以下のとおりです。

18日22時21分に宮古島北西沖で発生した地震(M6.5、深さ182km)により、沖縄本島と宮古島で震度3を観測したほか鹿児島県奄美大島から沖縄県波照間島にかけて震度2~1を観測(上図、震央分布図の範囲外)しました。この地震についての詳細は別紙を参照ください。

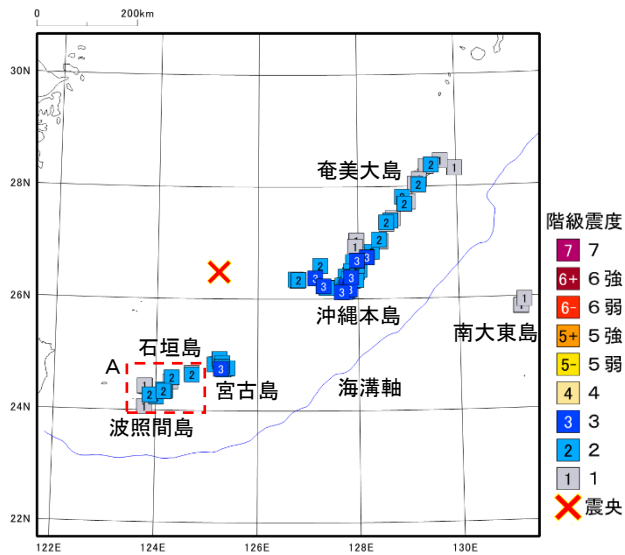
【震度分布図】



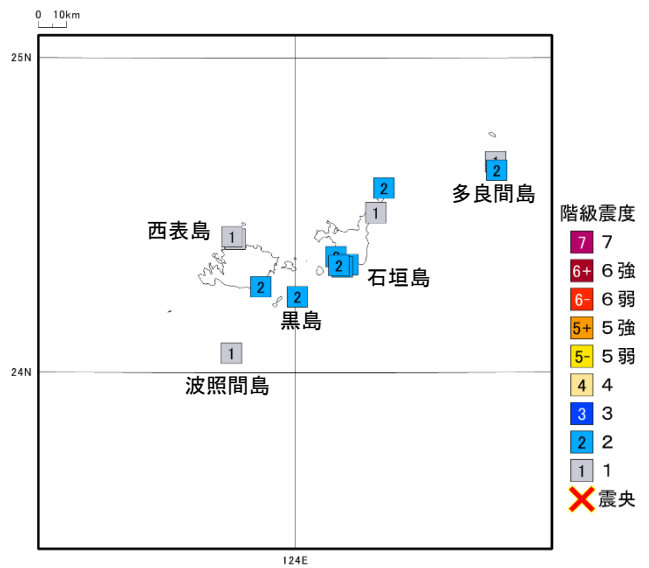
震度分布図
(9月9日07時09分 宮古島近海 M4.3)



震度分布図
(9月18日18時09分 西表島付近 M3.1)



震度分布図
(9月18日22時21分 宮古島北西沖 M6.5)



左図赤枠 (領域A) の拡大図

八重山地方で震度1以上を観測した地震一覧（期間：9月1日～30日）

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2023年09月09日07時09分 沖縄県	宮古島近海	25°03.9' N	124°41.2' E	79km	M4.3
震度 1	多良間村塩川, 宮古島市伊良部前里添, 宮古島市下地島空港*, 石垣市平久保				
2023年09月18日18時09分 沖縄県	西表島付近	24°19.4' N	123°43.2' E	49km	M3.1
震度 1	竹富町大原				
2023年09月18日22時21分 沖縄県	宮古島北西沖	26°28.7' N	125°13.2' E	182km	M6.5
震度 3	国頭村辺土名*, 今帰仁村仲宗根*, 糸満市潮崎町*, 西原町与那城* 座間味村座間味*, 渡名喜村渡名喜*, うるま市みどり町*, 八重瀬町具志頭* 南城市知念久手堅*, 宮古島市下地*				
震度 2	名護市宮里, 名護市豊原, 名護市港*, 国頭村奥, 本部町役場*, 恩納村恩納* 宜野座村宜野座*, 金武町金武*, 栗国村浜, 那覇市樋川, 那覇空港, 那覇市港町* 宜野湾市野嵩*, 浦添市安波茶*, 沖縄市美里*, 読谷村座喜味, 嘉手納町嘉手納* 北谷町桑江*, 北中城村喜舎場*, 中城村当間*, 豊見城市宜保*, 与那原町上与那原* 南風原町兼城*, 渡嘉敷村渡嘉敷*, うるま市石川石崎*, うるま市与那城平安座* うるま市勝連平安名*, 八重瀬町東風平*, 南城市玉城字玉城, 南城市大里仲間* 南城市佐敷字新里*, 久米島町山城, 久米島町謝名堂, 久米島町仲泊*, 久米島町比嘉* 多良間村塩川, 宮古島市平良下里, 宮古島市城辺福北, 宮古島市平良池間 宮古島市伊良部前里添, 宮古島市平良狩俣*, 宮古島市城辺福西* 宮古島市上野支所*, 宮古島市平良西里*, 宮古島市下地島空港*, 石垣市登野城 石垣市新川, 石垣市平久保, 石垣市新栄町*, 石垣市真栄里*, 竹富町大原, 竹富町黒島				
震度 1	伊平屋村我喜屋, 伊平屋村役場*, 伊是名村仲田*, 南大東村在所, 南大東村池之沢 北大東村黄金山, 北大東村中野*, 多良間村仲筋*, 宮古島市上野新里, 石垣市伊原間* 竹富町波照間, 竹富町上原小学校, 竹富町上原青年会館*				
鹿児島県	震度 2	瀬戸内町請島*, 奄美市名瀬港町, 天城町平土野*, 伊仙町伊仙*, 和泊町和泊* 知名町瀬利覚, 与論町茶花*			
震度 1	大和村思勝*, 瀬戸内町加計呂麻島*, 瀬戸内町与路島*, 喜界町滝川 奄美市笠利町里*, 徳之島町亀津*, 天城町当部, 和泊町国頭, 知名町知名* 与論町麦屋				

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。
※八重山地方以外に震度が観測された場合は、その震度も記載します。

※ 資料中のデータについて

国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。

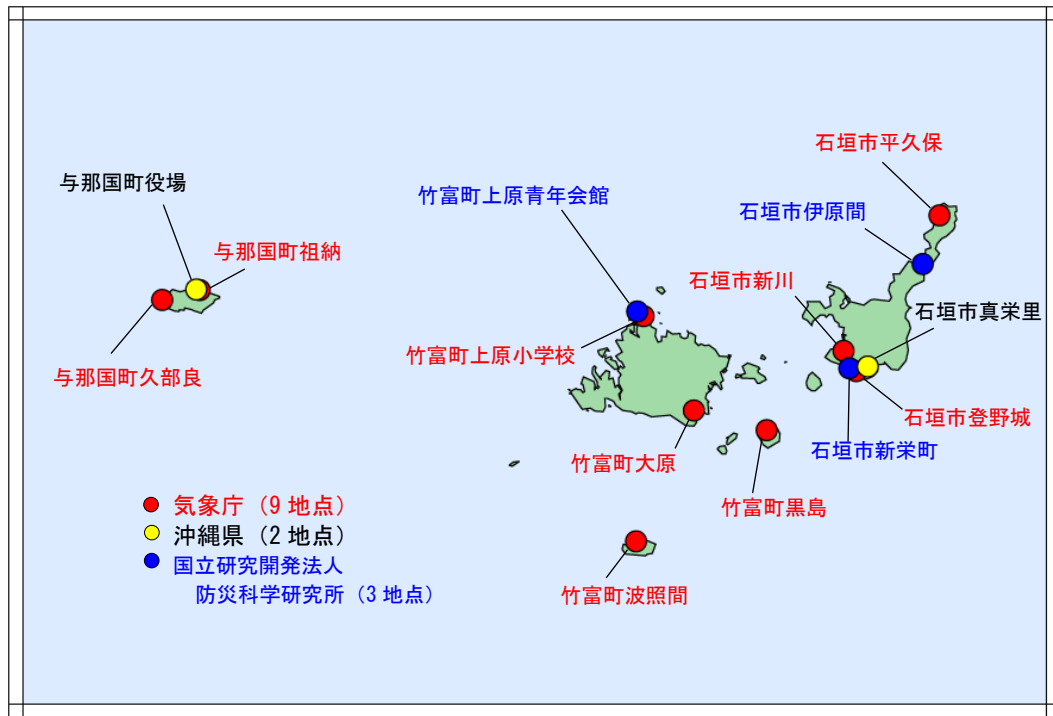
また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

八重山地方の震度観測地点



※過去の地震活動は石垣島地方気象台のホームページで閲覧できます

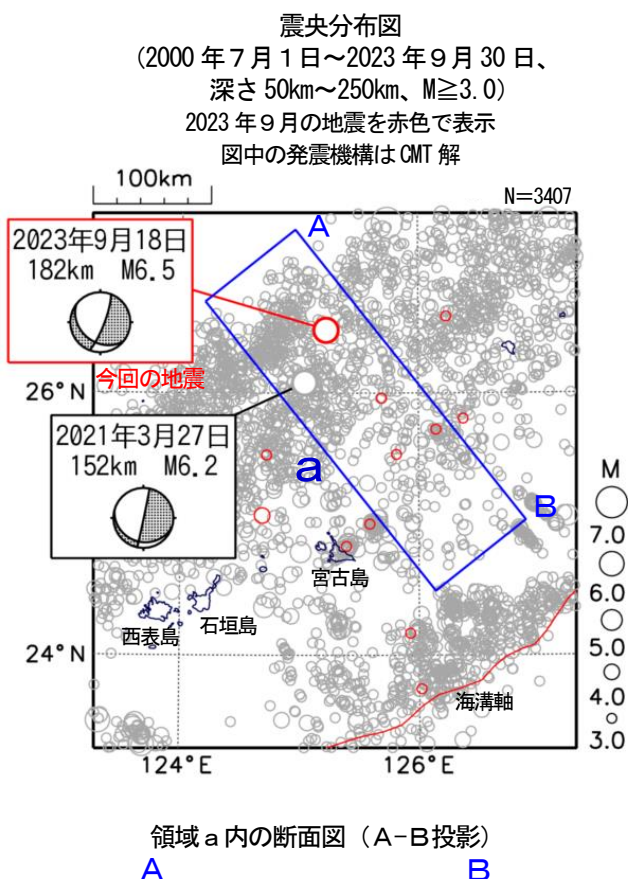
URL <https://www.data.jma.go.jp/ishigaki/press/jishinkatsudo/jishin.html>

※震度1以上を観測した地震の震度分布図は、気象庁ホームページ「震度データベース検索」を
ご覧ください。

URL <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

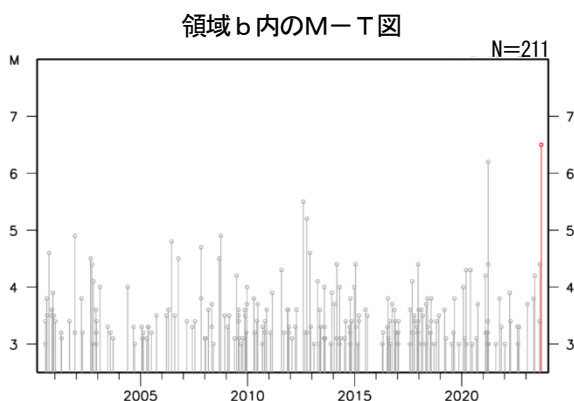
本件に関する問い合わせ先 石垣島地方気象台 0980-82-2170

9月18日 宮古島北西沖の地震



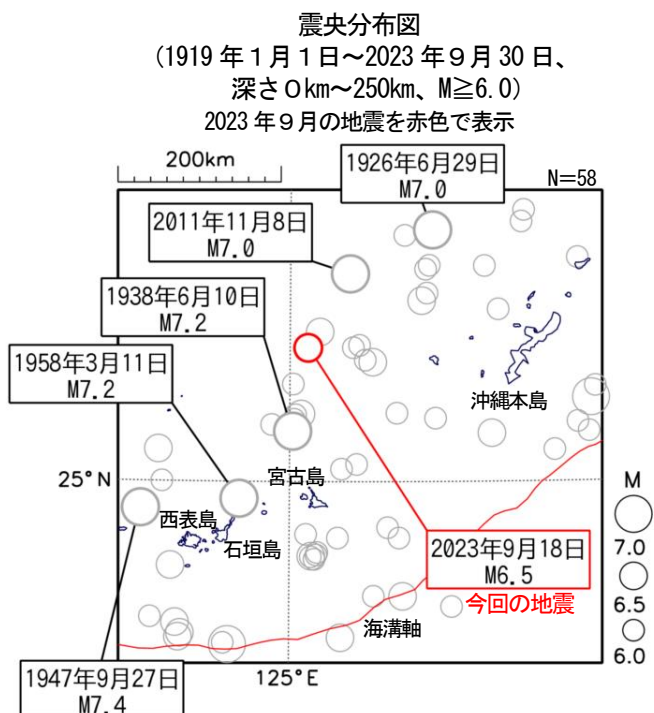
2023年9月18日22時21分に宮古島北西沖の深さ182kmでM6.5の地震（最大震度3）が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、フィリピン海プレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

2000年7月以降の活動をみると、今回の震央付近（領域b）では、M6.0以上の地震が今回の地震を含めて2回発生しており、もう一つは2021年3月27日にM6.2の地震（最大震度2）が発生している。

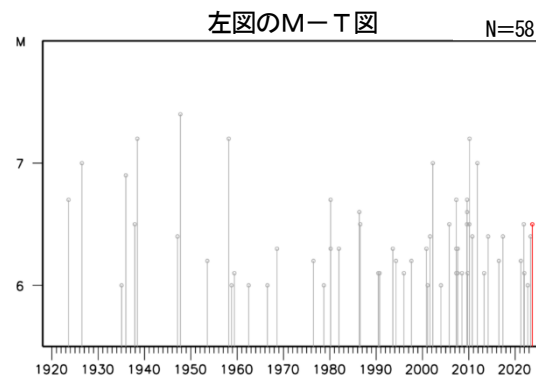


領域a内の断面図（A-B投影）
A B
b

今回の地震
N=602



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、過去にM6.0以上の地震が時々発生しており、1938年6月10日にM7.2の地震（最大震度4）が発生し、宮古島平良港で1.5m程度の津波が目撃されており、栈橋の流出などの被害があった。また、1958年3月11日にM7.2の地震（最大震度5）が発生し、先島諸島で死者2人、負傷者4人のほか家屋損壊等の被害が生じた（被害は、「日本被害地震総覧」による）。



(この期間は検知能力が低い)